

当期純利益 計算方法まとめ



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2026年1月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

当期純利益 計算方法まとめ

当期純利益とは？

当期純利益とは、一会计期間（通常1年間）に会社が活動した結果の全収益から、全ての費用・法人税等を差し引いた利益を指します。会社の最终的な経営成績を表す指標です。

計算の全体像（損益計算書の構造）

損益計算書（P/L）では、以下の5つの利益を段階的に計算することで、最终的な当期純利益を求めます。各段階の利益は、会社経営の異なる侧面における成績を示しています。

No.	利益名	示す成績
1	売上総利益（粗利益）	商品力・サービス力
2	営業利益	本業の成績
3	経常利益	事業全体の成績
4	税引前当期純利益	臨時的な要因を含めた会社としての成果（税引前）
5	当期純利益	最终的な経営成績（税引後）

当期純利益 計算方法まとめ

当期純利益に至る計算プロセス

当期純利益は、売上から段階的に費用や税金を差し引くことで計算されます。

損益計算書における5つの利益の計算

利益名	計算式	意味
① 売上総利益	売上 - 売上原価	商品力・サービス力の成績
② 営業利益	① - 販管費	本業（主たる活動）の成績
③ 経常利益	②+ 営業外収益 - 営業外費用	事業全体の継続的な成績
④ 税引前当期純利益	③+ 特別利益 - 特別損失	臨時のな損益を含めた成果（税引前）
⑤ 当期純利益	④ - 法人税等 ± 調整額	最終的に会社に残る利益（税引後）

各費用の構成要素（抜粋）

- ・**売上原価**：商品の仕入代金や製造にかかる費用など、売上に直接かかる費用。
- ・**販管費（販売費及び一般管理費）**：人件費、広告宣伝費、家賃、消耗品費など、商品販売や会社管理にかかる費用。
- ・**特別利益/損失**：不動産売却益/損、災害による損失など、会社の活動上臨時に発生する収益や費用。

当期純利益 計算方法まとめ

最終計算式と当期純利益の活用方法

最終計算式

当期純利益は、臨時の損益を含めた税引前の成果から、最終的に税金を差し引くことで求められます。

$$\text{当期純利益} = \text{税引前当期純利益} - \text{法人税等} \pm \text{法人税等調整額}$$

(法人税等には、法人税、住民税及び事業税が含まれます)

経営分析における活用指標

当期純利益を用いた代表的な指標を見ることで、会社の経営状況や資本の運用効率を分析できます。

指標名	意味と活用方法
売上高当期純利益率	売上高のうち最終利益がどれくらい残ったか。利益効率の比較に利用。
総資産当期純利益率 (ROA)	会社の総資本をどの程度有効に運用しているかを示す。数値が高いほど良好。
自己資本当期純利益率 (ROE)	自己資本の運用効率を示す。株主が投資した資金の運用状況の判断目安。
1株当たり当期純利益 (EPS)	1株当たりでどの程度の利益が生じたか。数値が高いほど経営は良好。
配当性向	当期純利益のうち、配当金に回した割合。会社の配当姿勢を判断する目安。